

小児膀胱尿管逆流症手術で入院された方へ		入院診療計画書		患者番号: 患者氏名:		様
日付	入院日	手術日	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目以降	退院日
目標	治療に対する不安の訴えがない 転倒・転落の危険性が理解できる	鎮痛剤を使用し、疼痛軽減できる バイタルサインに問題がない 安静を保つことができる 膀胱留置カテーテルにトラブルがない	術後合併症がない		→ → → →	退院後の生活について理解できる
内服	飲んでいる薬があれば、看護師にお知らせ下さい	服用の指示がなければ、内服は飲まないでください	服用している薬は、主治医の許可があれば再開となります		飲み薬で抗生剤を飲む場合があります	退院時にお薬を渡す場合があります
注射	手術前に点滴が必要になる場合、点滴の針を入れることがあります	医師の指示で手術前に点滴をすることがあります 手術後は持続で点滴を流します 痛みが強い場合は、痛み止めを使います	痛みが強ければ、痛み止めの点滴などをします 	点滴が終了予定です (術後の状態によっては、延長することもあります)	医師の許可があれば点滴の針を抜きます	
検査	特に検査予定はありません				腹部の超音波検査と尿検査があります	
処置		医師の指示のもと手術後は寝返りなどで尿の管が抜けないように、お腹にベルトを巻き、足も紐で固定します			尿の管が抜ければベルト固定などは解除します	
食事	特に制限はありません	( )時から食べないでください ( )時から飲まないでください 手術後3時間半で飲水テストを行い、飲食が再開となります	食事を食べるときは、起き上がれないため、ベッドの頭側を少し上げながら食べましょう			退院後の飲食の制限はありません
活動	制限はありません 転倒転落に注意しましょう	尿の管が抜けるまでは、寝返りや立ち上がったりができません			尿の管が抜けたら、病棟内を歩行できます	保育園への通園などは医師に確認しましょう
排泄		手術後尿の管が入ります 看護師が8時間毎におしっこの量を測定します	排便時は看護師と一緒にオムツ交換をしましょう		手術後3.4日を目安に尿の管を抜きます	退院時よりも濃い血尿があれば受診しましょう
清潔	シャワーができます	手術前に病衣に着替えます	体拭きと更衣をします		点滴の針と尿の管が抜ければシャワーができます	退院後は入浴可能です
説明	看護師から手術、入院に関する説明があります 手術承諾書を回収します 手術入室のときに、オムツ1枚を持って行くため、前日に看護師に預けてください	手術時間は( )時入室、( )件目の手術となります 手術当日から、病衣を使用するため、CSセットの病衣プランの契約が必要となります			尿の管が抜けたあとは、おしっこを我慢することや出にくい場合があるので注意して観察しましょう	退院時は看護師から次の再診日の確認があります
※これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りにいかないこともありますので、ご了承ください。 福井県立病院 外科 小児膀胱尿管逆流症手術で入院された方へ 2024年7月改訂						
主治医名		担当医名		主治医以外の担当者: 看護師		
管理栄養士		栄養管理の必要性 有り				
上記について説明を受けました		署名		ご本人以外の場合患者様とのご関係( )		